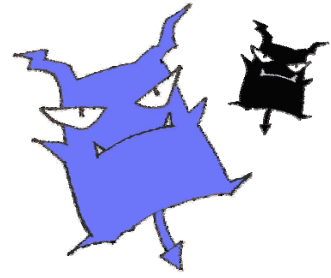


# 平成20年4月 京都市こどもの感染症

かんせんしょう



## ★☆ これから流行りそうなのは…

< 去年の今頃(4月)の順位 >

順位	病気の名前	特徴、予防法など
1位	かんせんせいりょうえん 感染性胃腸炎	発熱、下痢、嘔吐などが症状。ノロウイルスが有名ですが、初春の時期には、ロタウイルスによる下痢症も多く、この場合、白色の下痢便がでます。年齢は乳幼児での感染が中心です。予防には、調理前、食事前、トイレの後などの手洗いが基本です。下痢や嘔吐が続くと脱水症になりやすいので、水分補給をこまめに行いましょう。
2位	インフルエンザ	インフルエンザウイルスが原因で、急な発熱(高熱)や筋肉痛、関節痛などの全身症状が強く出やすく、免疫力の弱い乳幼児では、吐き気や嘔吐などの胃腸症状のほか、肺炎や気管支炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすこともあります。 予防には、手洗い・うがい・マスクをし、部屋の湿度を適切に保つ、休養、栄養を摂るなどの日々の対策が大切です。
3位	水ぼうそう (水痘)	水痘ウイルスが原因で、全身に発しんができます。伝染力が強く、肺炎・脳炎・髄膜炎などの合併症を併発することもあります。 発病3日以内に抗ウイルス薬を服用することで、症状の軽減が期待できます。 予防接種は任意(1歳以上で、1回接種)ですが、集団生活をする場合は、受けておかれることをおすすめします。かかりつけの医療機関にご相談ください。 なお、集団へ感染がひろがるのを防止するため、学校保健法による出席停止期間は、すべての発しんが、かさぶたになるまでとなっています。

## ●●● 平成20年度から5年間、年度内に13歳または18歳になる方は、麻しん風しん混合(MR)ワクチンの接種を無料で受けることができます ●●●

麻しんは昨年春に、10歳代、20歳代を中心とした成年層で大流行し、高校や大学などでの休校が相次ぎました。「従来の1回接種では、免疫を獲得できなかった」、「ワクチンが未接種であった」などが理由としては考えられます。

そこで、本市では平成20年度から24年度までの5年間、麻しん予防接種を1回しか受けていない世代に対して、無料で予防接種を実施することとなりました。年度内に13歳又は18歳になる方が対象となりますので、この機会に是非受けましょう。

使用ワクチンは、麻しん対策と同時に風しん対策を行うため、原則として麻しん風しん混合(MR)ワクチンを使用します。

### ●麻しん風しん混合(MR)ワクチンの接種対象年齢等

接種対象年齢	接種回数	} あわせて2回接種を行ってください
平成18年4月以降 2回接種が開始	1歳児 小学校入学前の1年間の幼児※ (※平成20年度は、平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれ)	



接種対象年齢	接種回数
平成20年度からの5年間、麻しん予防接種を1回しか受けていない世代に対して実施	年度内に13歳になる方※ (※平成20年度は、平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれ)
	年度内に18歳になる方※ (※平成20年度は、平成2年4月2日から平成3年4月1日生まれ)

- 料金 …………… 無料
- 接種方法 …………… 予防接種協力医療機関に事前に予約をし、個人で受けます。
- 問い合わせ先 …… 最寄りの保健所または保健福祉局保健医療課(075-222-3421)へ

◆ 気になる症状があるときは、かかりつけの医療機関に相談しましょう!